

平成30年6月議会 教育厚生委員会 追加資料

大阪北部の地震によるコンクリートブロック塀倒壊を踏まえた緊急対応について

【大阪府高槻市の状況】

大阪北部で震度6弱を観測した地震で、高槻市立の小学校プールに設置しているコンクリートブロック塀が倒壊し、通学途中の児童が死亡する事故が発生した。

新聞報道では、倒壊したブロック塀が建築基準法に違反するものであった。

※違反の内容：ブロック塀の高さが2.2メートルを超えるものであったこと。

(約3.5メートル)

塀を支える基礎などの設備がなかったこと。

【長崎市の対応】

高槻市での事故を受け、ブロック塀の現状を把握し、必要な措置を講じるため、まず6月19日付けで市立の全小中学校・高校へ通知し、ブロック塀の状況確認を行っているところである。

また、あわせて建築基準法第12条による点検等において、是正が必要とされたものを、緊急性があるものから順次対応をしているが、現在、優先度が低く、未対応となっているものも、再度の現地調査を行い、必要な措置を講じる。

【参考 12条点検における指摘件数と対応状況】

点検実施期間：平成27年度から平成29年度

	学校数	指摘有	対応済み	対応中	今年度 対応予定	工事対応 予定	未対応
小学校	68校	16校	4校	1校	2校	1校	8校
中学校	38校	11校		2校			9校
高校	1校	1校					1校
合計	107校	28校	4校	3校	2校	1校	18校

※緊急性があるものから順次実施中であり、未対応であるものは軽微なクラックが主な内容である。

平成30年6月19日
学 校 教 育 課

不審者による被害事案について（容疑者逮捕）

- 1 日 時 平成30年6月5日（火）
- 2 場 所 長崎市南部の住宅街の路上
- 3 該当児童 長崎市内在住の小学2年生女兒
- 4 事案の概要

平成30年6月5日（火）15時半ごろ、長崎市内在住の
女兒が、下校中にわいせつ被害を受け、全治10日間の打撲
と擦り傷を負った事案について、容疑者が6月18日（月）、
「強制わいせつ致傷」の疑いで、東京都内で逮捕された。

当該女兒は、昨日から保護者とともに学校への登校を再開
している。

- 5 当該校の対応
 - SCによる家庭訪問と面談（当該校はSC配置校）
 - 全校児童への注意喚起と近隣小中学校との連携
 - 集団下校の実施
 - 子どもを守るネットワークとの情報共有

(64)は「天井と床が波打っていた。かろうじて立つことができた」と話した。

「片付けをしに家に帰っていたが、余震が恐ろしい」。南海トラフ巨大地震で甚

に近い大阪府北部と京都府、兵庫県、奈良県の一部は、揺れが始まるまで時間

欠航、遅延相次ぐ

大阪府で震度6弱を観測

ブロック塀は違法建築

女兒死亡で高槻市長陳謝

大阪府高槻市は18日、地震で市立寿栄小4年三宅璃奈さん(9)が下敷きになり死亡したブロック塀について、建築基準法で定める高さを超え、法に違反していたと明らかにした。基礎と塀を固定する設備もなかった。

高き約1・6メートルのブロック塀を足すと約3・5メートル、2・2メートル以下の基準を超えていた。塀は地震で約40センチにわたり道路側に倒れた。

市によると、ブロック塀の基礎部分は高さ約1・9メートル。その上に設置していた

市は、基礎部分の設置を1974年と確認。上に積んだブロック塀について、記者会見に同席した市幹部は「1メートルの目隠しのため積んだ

と推測できるが、時期は調査中」と述べた。ブロック塀の点検は、建築基準法に基づき3年に1度、業者が点検を委託し実施することになってきた。直近では昨年1月に点検されていたが、塀の状況については報告されていなかった。ブロック塀を支える鉄筋の状況については「調査をし

ないと分からない」とした。海田剛史市長は「学校施設の一部が倒壊し、死亡事故が発生したことを深くおわびしたい。市の施設なのでわれわれにも責任がある。誠意を持って対応したい」と陳謝した。市は、他に倒壊の恐れがあるブロック塀がないか、市内の小中学校を調査する方針。東北工業大の最知正芳教授(建築生産工学)は報道で見る限りとした上で「倒れた上側の部分と基礎が鉄筋でしっかり固定されていれば、倒れても塀の一部がつながったまま生存空間が残った可能性もある」と指摘した。

女兒に強制わいせつ致傷

6/9 長崎

長崎、65歳男を容疑で逮捕

警視庁は18日、女兒にわいせつ行為をしてけがをさせたとして、強制わいせつ致傷の疑いで、住所不定(本籍長崎市)、無職、寺本隆志容疑者(65)を逮捕した。

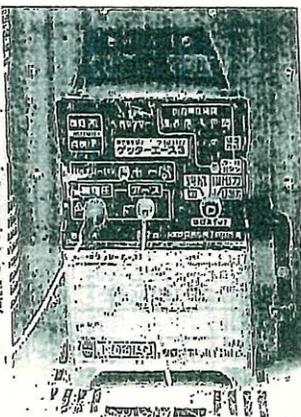
逮捕容疑は、5日午後3時半ごろ、長崎市南部の住宅街の路上で、下校中の小学2年生の女兒(7)の背後

から近づいてスカートをめくり、スカートを引っ張った勢いで女兒を前方に転倒させ、両膝に全治10日間の打撲と擦り傷を負わせた疑い。長崎署によると、女兒が防犯ブザーを鳴らし周辺の住民が寄ってきたため、容疑者は逃走。帰宅した女兒から報告を受けた母親が110番通報した。

番通報した。同署は目撃情報などから容疑者を割り出し指名手配。18日、東京都内に逃げていた容疑者を警視庁の捜査員が見つけた。容疑者の身柄は同日夜、同署に引き渡された。容疑者を大筋で認めているという。同署は動機などを捜査している。(岩佐誠太)

電源など盗難続発 佐世保、今月6件

獣害対策の電
柵の電
ポンプ
などが18
かかった
の被害
査して



盗まれたものと同型の電気柵の電源

佐世保市桑木場町

16日までに、電気柵の電源は桑木場町と針尾中町で3件、水揚げポンプは江上町や指方町で3件の盗難があった。このうち被害者が出ている4件の被害総額は約8万5千円相当と上るという。

尾地区で7件の被害を確認。担当者によると、いずれも道路脇の見えやすい位置に設置していたという。同署は「盗んだ狙いが機械そのものなのか、金属なのかについて捜査している」としている。J.Aの担当者は「これまで見回りをしたり、なるべく目立たない場所に置いたりするなどの対策をしてほしい」と呼び掛けている。

J.Aながさき西海も、10月中旬旬からこれまでにも桑木場町と針

(湯村高大)

日から